

# 平成27年度 学校法人 三幸学園 横浜リゾート&スポーツ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 斎藤 政臣

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 笠松 淳史

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

○テニスコースに入学してきた生徒は「挨拶をする事」や身だしなみを、何故整えなくてはいけないのかという意味から伝えるよう心掛けている。意味を伝えることにより、しっかりと行ってくれる。

○在学中から「専門学校では即戦力となれるよう社会人基礎力を身につけて卒業を」と言われていたが、現在の在校生もコミュニケーションの基礎である挨拶をしっかりと実施してくれていると感じる。

○清掃員という立場で数年間、学生と関わらせていただいているが気持ち良い「挨拶」が飛び交い、気持ちよく仕事をさせていただいている。

## 2. 27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 重点施策振り返り

#### ●担任力の向上

→H26年度からの退学率低減を目的とし、各担任が目標シートを作成。目標シートに合わせた定期的な面談を実施。(担任・副担任の連携・関係性強化)

#### ●産学連携の強化

→ルネサンス様、DeNA様との連携を強化。ルネサンス様とは、より実践的な授業カリキュラム導入に向け連携の強化を図った。DeNA様とはDeNA様の野球スクール運営補助として当校生徒に機会をいただいている。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

○「テニス指導者」という観点で考えても、指導者という立場を見ても「キャリア」の必要性を感じる。副担任が付く場合は、現行通りキャリアのある教員のサポートの必要性を感じる。またHR時にキャリア経験のある教科担当の先生方に入ってもらえるかどうか。年齢が若い担任メンバーも「先生も勉強している。努力している。」と感じてもらえる事で生徒との関係性は、より良いものになるのではないかと考える。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

#### ① 課題

- 教育理念、目標をまずは生徒に浸透させていくこと

#### ② 今後の改善方策

##### 【H27 実施策】

- 浸透方法として目指す人物像の掲示を行った
- 生徒自ら情報をキャッチする習慣づけとして教務掲示板を活用した

#### ③ 特記事項

- 業界ニーズを深く理解し、教育に活かしていくことを目的とし複数の関連企業、団体と産学連携し、教育課程の共同編成やシラバスの共同開発を行い、業界の即戦力となれる人材育成を積極的に実践している。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

○「主体性」についてはルネサンスとしても社員に求めている重要な事項である。どの現場、社会に出ても「自ら考えて行動する」という事が必要になる。教務掲示板のように「自ら考えて行動」出来るきっかけがあると良いと思う。

○高等学校では、何でも情報を与えているような現状。自分でスクーリング計画を立てるなど、少しずつ主体性を育てていきたいと考える。

#### (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4 3 2 1

教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

- 情報システムを使用することが業務の効率化につながるというメンバー間の意識レベルに差がある

② 今後の改善方策

- 掲示板の利用を浸透させ、HR を有効活用し情報伝達の漏れを防ぐ

③ 特記事項

- 定期的(年3回:3月、9月、2月)に教職員の会議を実施し、運営方針等の浸透とともに情報共有を積極的に行っている。

※教職員会議時に学科会、クラス会議も行っている(H27 年度は6月、11月の2回クラス会議を実施)

④ 学校関係者評価委員会コメント

○日頃の授業期間の共有を活発に行いたい。リアルタイムでの教員間での発信の必要性を感じる。メールなどで生徒状況を共有する事が必要。教職員会議等で全体把握、日々の共有する仕組みを作っていけると良いのではないか。

○実習生との連絡をまめにとっているが、実習への参加頻度は生徒によってさまざまである。トレーナーが不在の時に、実習生が意欲的に参加できるよう、ウォーミングアップを実施してもらうなど実習の受け入れ先としても工夫が必要と考えている。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1

職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

- 新しい教員含め、成績判定基準に曖昧なところがある

② 今後の改善方策

- H28 年度始めに全体会議にて改めて判定基準について確認を行った

③ 特記事項

- ルネサンス様の休館日に施設見学兼スポーツクラブでの実体験を積ませていただいた(7月に見学、2月に施設利用をさせていただく)

④ 学校関係者評価委員会コメント

○評価基準に関しては高等学校でも難しい場合がある。教員間で基準の相違が生まれないう、また出席している生徒が試験で点数が取れないということがないよう教員側の意識統一も必要である。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	4	3	2
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

- 資格取得のための受験率及び取得率の向上
- 退学率の低減

② 今後の改善方策

- クラス状況報告を週1回の担任会議にて共有。また担任以外の教科担当にも情報を共有し学校全体として退学率低減に取り組む

●授業内で資格取得のための動機づけの強化。教科担当を中心に担任からもサポートを行う。

③ 特記事項

【退学率】

H27年度 健康スポーツ科 退学率 16/146名 10,96%

H26年度 健康スポーツ科 退学率 7/142名 4,93%

④ 学校関係者評価委員会コメント

○退学者数、退学率ともに前年比マイナスの現状を改善する努力が必要。

○就職率については、正社員として就職出来ている実績があるので業界とのつながりを、もっとアピールした方が良いのではないかと。横浜リポート校の強みであるところはアピールすべきである。

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

●卒業生 SNS として「SANKO リンク」を設置しているが、まだまだ認知を含めて不足している。

② 今後の改善方策

●幸い卒業生が学校に来てくれる機会が多いので、来校してくれた卒業生に対してリーフレットを配布し認知拡大に努める

③ 特記事項

●就職サポートシステムとして複数名の教員による就職支援システムを構築している

④ 学校関係者評価委員会コメント

○各業界で活躍している卒業生を学生向けに講演する機会を設けてはどうか。

## (6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

### ① 課題

●特になし

### ② 今後の改善方策

●年 2 回(4月、9月)学年別に避難訓練を実施

### ③ 特記事項

●更なる充実を図るため、毎年、実習・インターンシップの新規開拓を行っている

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

○特になし

## (7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

### ① 課題

●特になし

### ② 今後の改善方策

●特になし

### ③ 特記事項

●学納金の決定の際には、他校の学費水準も把握した上で決定している

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

○特になし

## (8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

### ① 課題

- 特になし

### ② 今後の改善方策

- 特になし

### ③ 特記事項

- 生徒募集は順調に推移しており、予算も概ね計画通り推移している。財務基盤は安定している状態であるといえる。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

※委員会開催時 27 年度決算が終了していなかったため 26 年度財務諸表を参照し財務情報を共有した。

## (9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

### ① 課題

- 更なる法令遵守の推進

### ② 今後の改善方策

- 教職員会議や掲示物を通じて、法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る

### ③ 特記事項

- 平成26年度自己評価結果より公開開始

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- 特になし

## (10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

### ① 課題

- 一般の方向けの公開講座が少ない

### ② 今後の改善方策

- 地域貢献につながる公開講座を積極的に実施していく

### ③ 特記事項

- ボランティア活動については、積極的に取り組んでいる。特にスポーツイベント支援、スポーツチーム支援、幼児スポーツ支援等を中心に様々な活動を実施している。その為、業界関係各位からは、指導者を育成する専修学校という観点から、高い評価を頂いているので引き続き、力を入れていきたい

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- リゾスポ大陸は地域連携・貢献の観点からも非常に良い取り組みだと思う。評判も良いので継続して欲しい。

## (11). 国際交流(必要に応じて)

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

### ① 課題

- 留学生の受け入れは積極的に行えていない現状あり

### ② 今後の改善方策

- 今後の留学生向け説明会、ガイダンスには参加していく

### ③ 特記事項

- 平成26年度から「留学生学費減免入学」制度を導入している



④ 学校関係者評価委員会コメント

○特になし

**4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果**

総合的に評価すると、教育活動、財務等については整っており、学生募集状況も順調であると言える。

教育活動においては業界内でもトップレベルの講師陣を揃え、カリキュラムも“業界が求める人材”を基にルネサンス様にも協力いただき産学連携の観点からも作成されており、非常に充実している。

一方で地域との連携、卒業生に対するアプローチが不足しており、今後に向けての課題と思われる。

更に担任力の強化や学校全体として教務力の向上を図ると共に、退学者数、退学率の低減を確実に進めて行く。

その為にも、各教員が“生徒のために”との統一認識と教員という仕事に責任を持ち、行動することが求められる。学校の取り組みや体制を全教職員に理解・浸透させていく取り組みや機会を増やし、今以上に業界や地域から信頼され、必要性の高い専修学校になるよう、より良い学校運営に取り組んで行きたい。